


令和元年度 総括

目次

- 1, 利用者の異動
 - 2, 職員の異動
 - 3, 職員体制
 - 4, 提供する作業内容
 - 5, 提供する作業の総売上
 - 6, 行事
 - 7, モニタリング支援者会議等設置相談支援事業所
 - 8, 特別支援学校生徒等の実習状況
 - 9, 職員が参加した各種研修・講習会
 - 10, 苦情, トラブル等
- 

1, 利用者の異動

- ① 平成30年度より利用を継続した者（平成31年4月1日現在）
（男子38名・女子19名 合計57名）
- ② 平成31年4月1日以降に新規に利用を開始した者 なし
- ③ 令和元年度中に利用を停止・終了した者（男子2名・女子0名 合計2名）
一般就労へ 1名・他A型事業所へ 1名
- ④ その他 なし

2, 職員の異動

- ① 平成30年度より継続した者（平成31年4月1日現在）
常勤（男子10名・女子6名 合計16名）
非常勤（男子2名・女子5名 合計7名）
- ② 平成31年4月2日以降に新規に採用した者（男子1名・女子0名 合計1名）
- ③ 離職者, その他（男子2名・女子0名 合計2名）

3, 職員体制

施設長 前川 孝彦
サービス管理責任者 佐藤友紀子・前川 孝彦
資格取得者：中地勝美、中村英樹
障がい者職業生活相談員 小村 健一・佐出 美里・佐藤 裕馬・佐藤友紀子・
柴田 和久・白田 美緒・高田 莉那・中地 勝美・
中村 英樹・前川 孝彦
浦出 沙希（11月8日取得）
衛生管理責任者 中村 英樹
防火管理責任者 柴田 和久（補佐 前川 孝彦）
安全管理者 小村 健一
公正採用選考人権啓発推進委員（ハローワーク） 前川 孝彦
健康保健推進委員（けんぽ） 佐出 美里
奈良県社会福祉法人共同事業 まほろば幸いネット（県社協） 前川 孝彦
特定個人情報管理者 理事長 同取扱責任者 前川 孝彦

4, 提供する作業内容（平成30年度より継続した作業）

- A, 鉄道リネンサービス株式会社 向日町工場より
JR 関連 モタレカバー・乗務員宿泊所包布等、
ホテル関連 東横ガウン・クラウンガウン・金星製品・防災製品等、
- B, 取引先（大樹が納品、回収を実施するホテル等）
サンホテル大和郡山, スーパーホテルLOHAS JR奈良駅前・大和郡山店・

JR 奈良駅前（三条通り店）・新大宮駅前，ホテルウイングインターナショナルセレクト東大阪店，コンフォートホテル奈良店，ホテルフジタ奈良店，東城陽ゴルフ倶楽部，ホテルいこい，住宅型有料老人ホーム 天翔，ゲストハウス KIBAKO

5， 提供する作業の売上（税込）

総 額	鉄道	39,992,047円
	ホテル	2,358,010円
	ホテル奈良	5,138,402円
	ホテル 奈良	834,471円
	特別老人ホーム	139,491円
	ホテル	281,192円
	ホテル 大阪	7,147,949円
	ゲストハウス	67,240円
	スーパーホテル	7,732,621円
	スーパーホテル 山	3,255,328円
	スーパーホテル 大宮	3,346,403円
	スーパーホテル 通り	3,485,120円
	東城陽	2,320,428円
	合 計	69,844,073円
	消 費 税	(6,254,629円)
	総 額	76,098,702円

ゲストハウス KIBAKO は5月末日をもって取引終了。

※平成31年（令和元年）度収支予算書 事業収入予算案に対する比率 108.71%

6， 行事

平成31年

4月18日 大樹のお MATURI 2 = 春 =

令和元年

5月20日～ モニタリング面談 開始

6月 3日 労働基準監督署 監督官による作業状況調査①（13：00～ 4名）

6月15日 令和元年度定期評議員会（15：00～）

6月29日 令和元年度第1回役員会（15：00～）

7月14日 令和元年度保護者会役員会（10：00～）

7月20日 天理市人権擁護委員会 施設研修会（15：00～ 8名参加）

8月2・6日 労働基準監督署 監督官による作業状況調査②（9：30～ 10名）

- 8月 2日 令和元年度 教員免許取得に関する介護等体験事業
天理大学 計14名
介護等体験 8.5～9, 8.26～30, 9.2～6, 9.9～13
実施にかかる合同オリエンテーション (計4回)
- 8月 2日 天理市立山の辺小学校教員研修会 (9:30～ 参加18名)
- 10月 2日 令和元年度定期健康診断① 検診車健診, 尿検査
- 11月20日 令和元年度定期健康診断② 産業医による内科検診
- 11月28日 天理消防立入検査 (10:15～)
- 12月19日 令和元年度 大樹忘年会&クリスマスビンゴ大会
- 令和2年
- 1月 2日 仕事始め
- 2月28日 消防等訓練 (14:45～)
- 3月29日 令和元年度 第2回役員会 (10:00～)
- 3月29日 第2棟消防等設備増設工事 (9:00～)

7, モニタリング支援者会議等設置相談支援事業所

※サービス利用計画作成に当たり、各圏域相談支援事業所が行うアセスメント、モニタリング、担当者会議等に事業所を利用。サービス利用計画を作成するための支援に拘らず、多方面による支援を提案出来る話し合いの場として頂きました。

◎モニタリング支援者会議, 支援担当者会議に参加した相談支援事業所

- 奈良圏域 史明会 リノ・こぶしの会 こっから・あおはに会 ポラン・
みやこいち福祉会 とびら・あゆみの会 ふーぷ・わたぼうし た
んぼぼ
- 東和圏域 だるま会 ちゃお・手をつなぐ育成会 りあん・そうそう・
まちかど福祉ステーション・
- 西和圏域 まきば会 フレンズ・いこま福祉会 かぎぐるま・ほのぼの こん
ぺいとう・大和郡山育成福祉会 りんく・ぼかぼか スペース・
大和高田市育成会 青垣園・以和貴会 しえ〜く
- 南和圏域 御杖村社会福祉協議会

8, 特別支援学校生徒等の実習状況

◎実習 (就労に関わる職場実習) なし

◎職場体験 (高等部1・2年生を対象とした就労のための体験学習)

- 高等養護 グループ3名 (1年) (2.3～7 4日)
第2班はコロナウイルスによる臨時休校のため中止
- 西和養護 (2年) (8.19～21 3日)
(2年) (1.14～16 3日)

9, 職員が参加した各種研修・講習会

各月の定例職員会議をベースに、利用者情報を提示し、利用者の現状を共通理解する機会を持てるよう努めた。これにより、職員が広範囲で利用者情報のアンテナを立てて欲しいとの期待を持っている。定例職員会議後、ミニ研修等を実施。

- 奈良県心身障がい者施設連盟 第1回協議会（前川） 7月10日
- 就労継続支援A型フォローアップ研修会（前川） 10月23日
- 障がい者職業生活相談員資格認定講習（浦出） 11月7～8日
- 奈良県障がい者虐待防止・権利擁護研修 全体大会（白田・前川） 11月11日
- 健康保健委員会合同研修会（佐出） 11月15日
- 奈良県心身障がい者施設連盟 県外研修（前川） 12月12～13日
- 奈良県障がい者虐待防止・権利擁護研修 本研修（前川） 12月16日
- サービス管理責任者更新研修（佐藤・前川） 2月3日
- 全国社会福祉法人経営者協議会後期セミナー（前川） 2月12日

10, トラブル報告 利用者間ではトラブルあり、保護者の協力を得て解決に結び付くことはありますが、保護者からの苦情については、今年度もありませんでした。

☆事業所でのトラブル1

男性利用者（K君） ロッカーから携帯電話がなくなった。翌日、無残な姿で見つかった。

- 携帯電話のGPSを追跡してもらったところ、事業所から前栽方面に徒歩速度で移動していき事が分かる。その途上に廃棄されていた。（母、発見）携帯は使用出来ないよう（見つけれない）に二つ折りに壊されていた。
- 利用者から情報を集める。
-

☆事業所でのトラブル2

男性利用者（I君） ロッカーからお金が無くなった。休憩時間に、カバンの中から財布を取り出す。それをカバンにしまったつもりだったが、丁番の出っ張りに財布を引っ掛けたまま、ロッカーを施錠した。次にロッカーに行った時、自分の財布がロッカーにぶら下がっているのに驚いた。中身を確認して、1万円札がなくなっていた。

- 中に入っていた金額の確認。保護者を通じて、入っていた経緯を確認してもらったが、入っていた確証は本人からも得られなかった。入っていたように思う（本人談）
- 利用者から情報収集。ロッカーに財布がぶら下がっていたことには気付いていない。休憩時間後、約30分間に入ったものは少ないはず…だが、特定は出来ない。
-

※事業所内でのトラブルの第1因、物がなくなったと訴えてくる場合が多い。

- ①食堂で、もらったお土産を休憩時に食べようと机の上に置いておいたのがない。
- ②昼食用にと買っておいたパンを食堂に置いていたがなくなっていた。
- ③食堂で昼食弁当の主菜だけが消えていた。(偶然、取り上げた弁当の主菜がなかった)
 - 上記3件については、食堂設置の監視カメラに録画されていまして、実行者を特定し、保護者にお越し頂き指導しました。
 - ③について、1件は弁当業者が入れ忘れていたことが判明しました。
- ④ロッカーからゲーム機がなくなった。ゲーム機はカバンの中に入っていて、ロッカーは鍵をかけている。
 - 利用者の勘違いでした。ゲーム機は自宅にありました。(保護者の報告)
- ⑤ロッカーからゲーム機がなくなった。ロッカーは鍵を掛けていない。
 - 施設へのゲーム機の持ち込みは禁止しています。とは言うものの、通勤途中の電車の中で楽しみたい場合もあって、施設内で使用しないことを前提にして容認していますが、自己管理が原則です。
 - 彼の場合、電車の中で遊んでいる時、他の利用者から何度か貸して欲しいと聞き、僕のゲーム機を物欲しそうに見ていた。『きっと彼だ。』と思い込み、泥棒扱いするかのように詰め寄りました。事実無根です。
 - ゲーム機は、昼食後の休憩時間にロッカーで遊んでいた所を指導員に見つかり、職員室に預かられている状態でした。思い込みの強さが招いたことですが、本人と保護者にも謝罪を求めることとなりました。
 - ゲーム機は全面的に持ち込み禁止となりました。

◎カバンに入れておいたはず…ロッカーに入れていたはず…のものがないと訴えてきた場合、利用者が普段から快く思っていない他の利用者を攻撃しようとする傾向があります。誰かを攻撃する前に、もう一度周りを点検、立ち回り先を点検、そして自宅を点検するよう指導しています。保護者の協力を得て、10件中8件は自宅にあった例が多いです。

◎残る課題 …… 保護者が利用者のカバンの中を知らない例が多い。
更衣室に監視カメラは必要か。

※現在、更衣室は新型コロナの感染拡大を警戒して、①必要時のみの入室、
②一人でも居座り禁止 を指示していますが、プライベート空間となりますので、管理が難しくなっています。